

# 「子育てに悩む親への地域における継続的な支援」 を考えるシンポジウム

平成元年の「1.57ショック」以来、国民の関心を集めることとなった合計特殊出生率は、埼玉県においては、平成15年に「1.21」と史上最低記録を更新し、間もなく日本は「人口減少社会」へと突入することが確実な状況となっています。

県では、平成7年、「彩の国エンゼルプラン」を策定、平成12年、必要な見直しを行った上で、「彩の国エンゼルプラン後期計画」を策定し、少子化対策を進めてきましたが、少子化に歯止めがかからない状況が続いています。また、昨今、児童虐待をはじめ、家庭や地域の教育力の低下や学校でのいじめや学級崩壊など、子どもたちを取り巻く環境はますます厳しくなっているとの指摘もあります。

子育て支援のあり方を巡っては、「子育て支援を進めるとますます親がだめになる。」、「子育てを親の責任ということ自体おかしい。子どもは社会の子どもとして育てるべきである。」、「発達障害、不登校、引きこもりなど『地域の子育て支援』をもっと広く捉えるべきである。」といった様々な意見があります。また、親支援の手法もノーバディーズ・パーフェクト、親学会、親業訓練協会、子育てアドバイザーなど多岐にわたっています。

このような状況の中で、乳幼児期、義務教育期、義務教育修了後というライフステージに応じて、子育て中の親に対する継続的な支援を行っていくため、行政、NPO、子育てに関わる関係機関がどのように連携し、取り組んでいくかをこのシンポジウムを通して考えます。

日時 平成17年7月19日(火) 13時～17時

場所 浦和コルソ 7Fホール

さいたま市浦和区高砂 1-12-1 JR浦和駅西口下車徒歩1分  
TEL. 048-824-5555

## 【内容】

あいさつ 埼玉県知事 上田 清司  
コーディネーター

NPO法人「コ・ラ・ボ埼玉」代表理事 望月 泰宏氏

シンポジスト 恵泉女学園大学教授 大日向 雅美氏

東京大学大学院教授 汐見 稔幸氏

埼玉県教育委員・明星大学教授 高橋 史朗氏

小児精神科医 山下 浩氏

定員

800人

【 主 催 】 埼玉県

【 後 援 】 埼玉県教育委員会

【 参加費 】 無料

【 申し込み方法・申し込み期限 】

下の申込用紙に必要事項を記入し、FAXで送信してください。  
電話、Eメールでの申し込みもお受けしております。  
平成17年7月12日(火)までにお申し込みください。

【 問い合わせ先 】

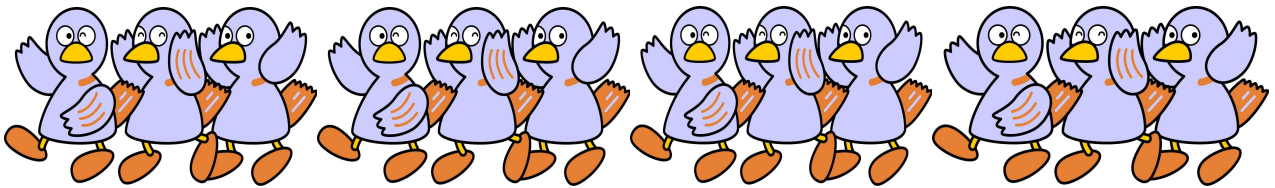
埼玉県福祉部子育て支援課子育て支援担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号

電 話 048-830-3343

FAX 048-830-4784

E-mail a3320-40@pref.saitama.lg.jp



---

申し込み用紙      F A X    0 4 8 - 8 3 0 - 4 7 8 4

埼玉県福祉部子育て支援課子育て支援担当あて

「子育てに悩む親への地域における継続的な支援」

を考えるシンポジウム申込書

住	所	
氏	名	
所	属	
電話	/	F A X